

長崎大学病院の臨床教育改革を断行し、若者が集う病院づくりを目指している河野病院長が、臨床実習を始めて約3か月の5年生の皆さんより意見を聞くミーティングを企画しました。アドバイザーとして安武先生も参加！

室長：おはようございます！今日は、長崎大学病院を‘CHANGE!’させるために、学生の皆さんの率直な意見を河野病院長にぶつけてください！

学生：わかりました！

院長：皆さん、元気いいですね。お手柔らかに（笑）。

ポリクリについて

室長：皆さん、臨床実習を始めて3か月位経ちますが、ポリクリについての感想は？

学生A：いろんな科を回るので楽しいのですが、自分がどの科に行くか迷いますね。

学生B：臨床に興味が出てきましたが、やっぱり、ちょっと期間が短すぎるような気がします。マイナーな科とかは1週間で終わるので・・・

＜安武先生のワンポイント情報①＞

実習期間などについては、医学部カリキュラム改編の中で、重要な議題として議論されています。また、全学教育のカリキュラム内容の改革も進めています！

学生C：あと、病院に学生のためのスペースがなくて、食事をする場所とか休憩する場所とかを見つけるのに苦労しますね。

＜安武先生のワンポイント情報②＞

改築中ですが、学生のためのスペースを用意する方向で調整しております。現在は、新病棟2階放射線部受付近くのカンファレンス室で食事することができます。

院長：ところで浜田先生、皆さんまじめだけど、どうやってこのメンバー選んだの？

室長：いや、近くにいたので連れてきたという感じなんで、（笑）特に優秀という訳では・・・？（一同爆笑）

院長：今の研修医も1～2か月各診療科を回るけど、それだけで、その科のことを知るの、難しいと思うんだよね。でも、限られた期間内で、精一杯できることを、きつくてやって欲しいと思う。短いからお客さんの扱われるかもしれないけど、積極的に仕事を見つけて、安易に楽な方向へ逃げたり、国家試験の勉強だけとか、安易に給与のいい方とか都会に行くとかいう風になってほしくないんだよ。自分の目指す医療とか、どういう医師になるかを考えて実習を積極的にやってほしい！

研修教育について

室長：長崎大学病院のマッチングは、地方大学としては健闘していますが、これから、さらに CHANGE して若い人が集まるためにどうすればいいと思いますか？

学生D：大学病院の特性上、Common Disease を診るのは難しいかもしれませんが、市中病院と比べるとその点の強化が必要かと思います。例えば救急当直をさせてもらうとか。

学生A：ポリクリの時に研修医の先生とあんまり話すことがないので、そこが難点ですね。他の病院だと一日研修医の先生について回るとだいたい様子がわかるんですけど・・・

学生B：Aさんの意見と同じなんですけど、大学ではなかなか研修医の先生の姿が見えてこないんです。

院長：今は、ポリクリは医局任せだから、そこを改革する必要があるね。それは、こっちの問題だから、対策をとるようにしたいと思います。

＜安武先生のワンポイント情報③＞

筑波とかは、いろんなことを学生にどんどんさせているらしいです。長大でも各科で検討していて、改善の方向に向かっていきます。

室長：制度の違いはあるけど、アメリカやカナダは、ポリクリの時にチームに入って、カルテ書きや処方や当直までするからね。そこまでとはいわないけど、やれるようになったらいいと思うんだけどね。

学生C：雑用でも何でもいいので、少しでも手を出させてくれるとホントにありがたいんですが。

院長：なるほど。君たちの気持ちはとてもわかる。しかし、目先の手技より、基

本的な基盤をしっかり2年間で作るの方が、もっと大事だと思うよ。基盤を作ることは、ホントに重要だから、それを忘れないようにしてもらいたいなあ。Common Disease をちょっと診れる、プレゼンがちょっとうまい、なんてことに惑わされることなく、しっかりした臨床医学に対する考え方とか患者さんとの接し方とか、基礎医学の重要性などをちゃんとした指導医と、しっかりした教育システムの中で学んでほしいですね。10年後にはそっちの方がぐ～んと伸びるよ。

CHANGE! のために何をしたらいい?

室長：他にはないですか？長大をアピールするためにアイデアを貸してください。

学生D：ポリクリで当直も含めて、研修医の先生に一日つきたいですね。全診療科をというのは、無理だと思いますが、やっぱり仕事の流れとか、研修医の先生が何を考えているかとかを知りたいです。

学生A：そうよね。愚痴なんかも聞きたいし、生の声を聞きたいよね。

学生B：そうそう、勉強や仕事以外のことをね！休みの日は何してるんですか？とか～

学生C：大学の先生の方が、よく教えてくれると思うんですが、そこらあたりをアピールすることも大事ですよ。

学生D：市中病院は、研修医が少なくって仲が良さそうで、和気あいあいという感じに映るんですが、大学病院は、そこがわからない・・・

室長：意外に仲良くって、こないだは2年次の同期会があったり、1年目の女子会があったり、秋には、キャリア支援室主催の研修医全体の飲み会あったりとかしているんですよ。

学生：へ～、そうなんだ。

院長：来年の6月には、研修医全員に机のある豪華な（笑）新しい研修医室ができるから、きっと、仲間が集える場所となると思いますよ。

＜安武先生のワンポイント情報④＞

臨床教育・研修センター事務室も隣接していて、仮眠室もできます！

室長：そして、夜は浜口で毎日ミーティングして、和気あいあい！

一同：（爆笑）

室長：宣伝になりますが、来年から救命センターとなり救急医療教育の改善、研修医のための駐車場の確保、住居手当支給など、大学病院としては結構すごいんじゃないかなあと思ってます。みなさんも宣伝よろしく！

学生：了解！

室長：最後に何かないですか？

学生A：研修医や後期研修のために先生方が努力しているのは十分わかりましたが、その先、医員の先生方とかには・・・

院長：私が、院長として一番やるべきことは、医員の先生方が働きやすいようにすることだと思っています。一番働いて、屋台骨を支えてくれますから。今日も、大学本部の事務に医員の先生方の待遇を改善するようにお願いしてきたんですよ。いろんな方面から改善をするようこれからも努力します！

室長：今日は、ありがとうございました。是非、長大のCHANGE!ぶりをみんなに広めてください！



～対談に参加してくれた学生のみなさんと～
左より、脇本尚子さん、嶋田隆志さん、病院長、
太田黒崇伸さん、種田知瑛子さん

友廣・医師育成プロジェクト開始！！

6年生・研修医必読！！

若い医師の育成を願い長崎大学病院にご寄付していただいた友廣嘉久先生のご遺志に感謝し、先生が理事長を務められた同仁会の理念である【親疎の差別をせず、すべての人を平等に見て仁愛を施す】精神に基づく人材育成プロジェクトが開始されます！

【プロジェクト概要】

- ① **シミュレーション教育の充実を図る** →最新のシミュレーション機器が導入！→**若手医師も笑顔になる！**
医療安全のため、若い医療者の技術向上のためにシミュレーターの購入
- ② **研修医のアメニティーの向上を図る** →新しく居心地良い、どこにも負けない研修医室へ！→**研修医が笑顔になる！**
新しくなる研修医室へ、一人一台の机イス、ロッカー、インターネット環境整備
- ③ **救急教育の充実を図る** →救急教育専用のシミュレーションセンターへ！→**学生が笑顔になる！**
研修医、修練医、看護部へ対する基礎救急教育の充実のため教育プログラムを作成し、救急シミュレーションセンターを作る
- ④ **長崎大学病院のロゴデザインを作成**
長崎大学病院ブランドを打ち立てるため、若者に支持されるブランドデザインの作成をプロに依頼し、将来的に白衣やストラップやマグカップのデザインとする
- ⑤ **医師育成キャリア支援室を友廣・医師育成キャリア支援室と改名し、友廣医師の功績を残す**
【記念式典】 2010年6月（新研修医室完成後）
【プロジェクト開始】 2009年11月！



① シミュレーター



② 新研修医室予定図



③ 救急医療専用シミュレーションセンター開設

【場所】

2010年7月 第1中央診療棟の現キャリア支援室及びシミュレーション室

【コンセプト】

救急処置に使用するシミュレーターを常時配備し、全職員に対して救急基本教育プログラム作成し定期的に訓練する。

【訓練指導体制】

救急部ドクターを中心に、ナース、キャリア支援室スタッフなどが加わる。

【管理体制】

予約や機材の準備や指導ができる救急に熱意のあるスタッフ1名を内外から公募し配置する。

【教育内容】

～コメディカル・看護学生・薬学学生・医学学生向け～

BLS: Basic Life Support

～研修医・若手医師向け～

ACLS: Advanced Cardiovascular Life Support や小児救急 (PACLS) や外傷処置

2月7日(日)に開催予定の、第5回長崎・佐賀若手医師のための実力アップセミナーは、東京慈恵会医科大学の古谷伸之先生をお招きして“診療の達人になろう！～循環器領域の疾患の所見から全般所見～”をテーマにワークショップを行います！5年生も受講可能ですので、是非応募下さい！詳細・申込方法等は後日メールにてご案内します。

長崎大学病院 医師育成キャリア支援室

TEL : 095-819-7847

FAX : 095-819-7882

MAIL : career@ml.nagasaki-u.ac.jp

<http://www.mh.nagasaki-u.ac.jp/career/>

